

7/25 男子マラソン日本代表 小山直城 選手
パリ五輪への意気込み語る



Honda (ホンダ) 陸上競技部が、ダイナックスアリーナにて取材会を開催。市内でパリオリンピックに向けた最終調整を行っていた、男子マラソン日本代表の小山直城選手が登場しました。最終調整に先駆けて、小山選手は約1か月間、アメリカで高地トレーニングを実施。「しっかりと走り込みができたので、自信を持ってスタートラインに立てそう」と、調子の良さをうかがわせました。パリ五輪での目標を8位入賞とし、「出るからには、勝ちにこだわったレースをしたい」と力強く宣言しました。同日に行われた公開練習では、青葉公園内のランニングコースをジョグ。「毎年ここで合宿をしていて馴染みがあり、私自身、青葉公園が好きということもあって、最後の調整を千歳で行うことにしました」と話してくれました。

7/12 ミス・アンカレジ ジャジー・トロッターさん
認定こども園ひまわりを訪問



スカイ・ピア&YOSAKOI祭の前に、ミス・アンカレジのジャジー・トロッターさんが来日し、認定こども園ひまわりを訪問しました。園児たちは大きく「Welcome」と描かれたボードと、ヒマワリの旗を手にジャジーさんを歓迎。ジャジーさんは園児と一緒に伝統芸能《荒馬》を楽しんだほか、特技のピアノ演奏を披露しました。ジャジーさんは、南カリフォルニア大学で航空宇宙工学を学ぶ秀才。質問タイムで将来の夢を聞かれ、「宇宙飛行士になって火星に行くこと」と答えると、園児から歓声が上がりました。翌日から始まったスカイ・ピア&YOSAKOI祭では、2日目にステージに登壇。友好都市であるアンカレジのプロモーションを行いました。

6/30 ファイターズをダンスで応援！
キッズ応援団に大歓声



エスコンフィールド HOKKAIDO で開催された北海道日本ハムファイターズ vs 福岡ソフトバンクホークスの3連戦。最終日となったこの日、道内の小学生100人による《キッズ応援団》がダンスを披露し、会場を盛り上げました。千歳市からは10人の小学生が参加し、5回裏の終了後、ファイターズガールとともにグラウンドに登場。大観衆の中「YMCA」を踊り、選手たちを応援しました。どうすればキレイよく踊れるか、考えて練習してきたという北陽小5年の中村莉鈴さん(写真右)は、「フィニッシュのポーズがとてもうまくいった」と練習の成果を実感。向陽台小4年の高田美桜さん(写真左)は、観客からの大歓声を受け「大勢のお客さんに見てもらえて感激。会場みんなが一つになったと感じた」と話しました。



まちのできごと・マンスリーでお知らせします。

7/7 NHKのど自慢
20組が熱唱



NHKのど自慢が北ガス文化ホールで開催されました。当日は、前日の予選に挑んだ177組の中から、予選を通過した20組の皆さんが歌声を全国に届けました。合格者は8組で、特別賞は「Choo Choo TRAIN」を歌った徳田和之さん、優勝は「WINDING ROAD」を歌った高平拓人さん、高平結さんご兄妹でした。ゲストの石川さゆりさんは、「北海道らしいおらかなあったかい歌声が聞けてよかった。特別賞の校長先生が印象に残りました」、長山洋子さんは、「レベルが高くてびっくりしました。みなさん、人柄が歌に出ていましたね」と話してくれました。

7/7 小雨の中 青葉公園でウォーキング
水と緑を歩こう会



市は、健康づくりの一環として、ウォーキングを通じ運動を楽しむ《水と緑を歩こう会》を開催しました。小雨が降る中での開催となりましたが、3歳から86歳まで幅広い年齢層の参加者約80人が、青葉公園で心地よい汗を流しました。それぞれ1km、3km、5km、ノルディックウォーキング(5km)の4つのコースに分かれた参加者は、順位を競うことなく自分のペースで楽しく歩きました。

人々のうごき

《総人口》
97,624人 (-57)
男性 49,595人 (+14)
女性 48,029人 (-71)
《世帯》52,560世帯 (+62)

()内は、前月との比較です。

8-1 現在

広報ちとせからのお知らせ

広報ちとせの発行日は毎月10日です。この日までに届かないときは、次の番号にご連絡ください。なお、町内会に加入しているしていないを問いません。

広報広聴課 広報係
☎(24)0104 FAX(22)8851

ちとせ空港 百年物語

手づくりの着陸場から新千歳空港へ
開港100年の歴史を振り返る

Vol.16

海軍航空隊の適地調査

「梶貝さん、行きましよう」
大湊海軍航空隊に所属する、攻撃機パイロットの梶貝襄治大尉と、梶貝の2年後輩で戦闘機パイロットの小福田中尉。海軍省から「飛行場適地調査」の指令を受けた二人は、大湊から北海道に赴き、調査を開始しました。

適地はどこだ

まず二人が訪れたのは、「石狩川流域」。ここは札幌に近く、広々とした田地でした。
「見通しているようにも見えますが、低地で地下水位が高く、石狩川のはん濫も心配ですね」
「丘珠飛行場との空域競合の懸念もあるし、それに少々、立派に開墾されすぎています」
広さはよいが、懸念事項もある。このためいったん保留としました。

次に訪れたのは、「苫小牧地区(勇払平野)」。ここも開けた土地でしたが、地質を調査した二人は息をのみました。
「こんな地質は本州では見たことがない。まるでゴムのようだ」
「一種の古代凍土とでも呼ぶべきでしょうか」
加えて、海霧がこの近辺まで進入し視界が良くないこともあり、これも保留となりました。

「石狩、苫小牧、千歳の順に有力候補地だと思っていたが…」
「広くて平たんな土地さえあればよい、というものでもないようですね」
調査の過程で教訓を得た二人は、最後の候補地「千歳付近」へと向かいました。

小福田中尉 (昭和12年1月)